

News Release



2018年1月19日

ボルグワーナー

ボルグワーナー、2017年インディ500覇者の佐藤琢磨選手に 「ベイビーボルグ」を贈呈

- インディ500優勝者に個別に贈られるレプリカでボルグワーナートロフィー™と同じ彫刻を再現
- 佐藤選手はアジア人で初めて「ベイビーボルグ」を獲得
- マイケル・アンドレッティは5つ目のボルグワーナー・チャンピオンシップ・チームオーナーズ・トロフィーを獲得

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、デトロイトで2018年1月17日に開催された「Automotive News World Congress」において、佐藤琢磨選手にボルグワーナー・チャンピオンシップ・ドライバーズ・トロフィー(通称「ベイビーボルグ」)を贈呈しました。佐藤選手は日本人で初めて、2017年5月28日にアメリカ合衆国インディアナポリス・モーター・スピードウェイにて開催された第101回インディアナポリス500マイルレース(以下、インディ500)で優勝を飾り、昨年10月に公開されたスターリングシルバー製のボルグワーナートロフィーに刻まれた自身の彫刻を再現したベイビーボルグを受け取りました。直近4回のインディ500のうち3回優勝を果たしているアンドレッティ・オートスポーツのオーナーであるマイケル・アンドレッティには、5つ目となるボルグワーナー・チャンピオンシップ・チームオーナーズ・トロフィーが贈呈されました。

昨年末にボルグワーナートロフィーは佐藤選手と共に、ボルグワーナー日本法人のボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン株式会社(三重県名張市)での社員と社員家族を対象としたボルグワーナートロフィーアイベント、「Honda Racing THANKS DAY 2017」、「Takuma Club Meeting 2017」といったイベントの数々を回った後、インディアナポリス・モーター・スピードウェイ殿堂博物館に戻りました。

常に努力を続け、トップの座を獲得した者にのみ与えられるボルグワーナートロフィーの歴史は、現在まさに同社が掲げるテクノロジーリーダーシップの精神に繋がっていると言えます。レースに参加するすべてのレーシングカーにボルグワーナーのEFR™(Engineered For Racing)ターボチャージャーが搭載され、2012年以来、ベイゾン・インディカー・シリーズで参戦者に競争優位性を提供してきました。EFRターボチャージャーは、迅速なブーストレスポンスをもたらす軽量のガンマチタン製タービンシャフトとホイール部品や、推力容量と耐久性を高めつつ低膨張率でタービン効率を向上させる特許出願中のセラミックボールベアリングなど、これまでにない最新技術を組み合わせ、信頼性とパワフルな性能で高い評価を得ています。さらに、インベストメント鋳造によるステンレス製タービンハウジングは、効率性と耐久性を高め、耐腐食性を備えています。

ボルグワーナーは、第 42 回 Automotive News World Congress のプラチナ・スポンサーです。毎年開催される Automotive News World Congress は、自動車業界大手の幹部が集い、業界の課題やトレンドを語り合うイベントです。

ボルグワーナーの社長兼最高経営責任者 ジェームズ・ベリアー(James Verrier)は、「佐藤選手の勝利は、インディ 500 だけでなくボルグワーナートロフィーの歴史においてもエキサイティングな出来事です。トロフィーは、佐藤選手、ホンダ、そして日本のファンを祝福するために、初めてアメリカから日本に届けられました。ボルグワーナートロフィーの伝統となっているパフォーマンスと卓越性を実践している佐藤選手に、ボルグワーナーの全員を代表して 2017 年のベイビーボルグを贈呈できることを誇りに思います。」と述べています。

佐藤琢磨選手は、「インディ 500 での優勝の記念として、ベイビーボルグを一生大切にします。日本人初の獲得であること、そして歴代の偉大なドライバーたちと共にボルグワーナートロフィーに顔を刻まれることは、大変光栄です。2018 年のインディ 500 を楽しみにしています。連覇を果たし、美しいボルグワーナートロフィーにまた僕の彫刻を加えることができたら最高です。」と述べています。



左から、ジェームズ・ベリアー ボルグワーナー社長兼最高経営責任者、
佐藤琢磨選手、マイケル・アンドレッティ選手、

ボルグワーナー・チャンピオンシップ・ドライバーズ・トロフィー(ベイビーボルグ)について

ボルグワーナートロフィーの唯一無二のレプリカであるボルグワーナー・チャンピオンシップ・ドライバーズ・トロフィーは、インディ 500 の優勝者に毎年贈呈されます。高さ約 36cm のスターリングシルバー製トロフィーは、重さ約 2kg で勾配付きの黒い大理石の台座に載せられています。台座には、優勝者の名前と勝利した年が刻まれており、優勝者の顔を手彫りしたスターリングシルバー製の立体彫刻(フルサイズのボルグワーナートロフィーに刻まれている彫刻のレプリカ)が貼りつけられています。ボルグワーナーは、優勝者に個別に贈る勝利の記念品として、1988 年にドライバーズ・トロフィーを制作しました。

ボルグワーナー・チャンピオンシップ・チームオーナーズ・トロフィーについて

ボルグワーナーは、ドライバーズ・トロフィーの他に、1998 年にボルグワーナー・チャンピオンシップ・チームオーナーズ・トロフィーを制作しました。このトロフィーは、インディ 500 の優勝チームのオーナーに贈呈されます。ドライバーズ・トロフィーと同様、ボルグワーナートロフィーのレプリカですが、金色のレーシングカーが連なるアールデコ調の装飾が施されており、自動車ビジネスにおけるチームワークの大切さを象徴しています。

ボルグワーナートロフィーについて

ボルグワーナートロフィーには、1911 年のレイ・ハルーン以後の、インディ 500 歴代優勝者全員の顔の彫刻が貼りつけられています。スターリングシルバー製で重さ約 50kg のトロフィーは、高さ約 165cm で、当初の価値は 1 万ドル(約 113 万円)でしたが、現在の時価は 350 万ドル(約 4 億円)です。ボルグ

ワーナートロフィーは、インディアナポリス・モーター・スピードウェイ殿堂博物館に常設展示されています。また、ボルグワーナーは、優勝者とチームオーナーに個別に贈る勝利の記念品として、1988年にボルグワーナー・チャンピオンシップ・ドライバーズ・トロフィー(通称「ベイビーボルグ」)を、1998年にボルグワーナー・チームオーナーズ・トロフィーを制作しました。いずれもボルグワーナートロフィーのスターリングシルバー製レプリカです。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車の内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界17カ国64カ所に生産・開発拠点を持ち、全世界でおよそ27,000人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.comをご覧ください。

ボルグワーナートロフィー、ボルグワーナー・チャンピオンシップ・ドライバーズ・トロフィー、ボルグワーナー・チャンピオンシップ・チームオーナーズ・トロフィーは、ボルグワーナーの商標です。

インディカー(およびデザイン)は、Brickyard Trademarks, Inc.の登録商標であり、許可を得て使用しています。ベライゾンは、Verizon Communications Inc.の登録商標であり、許可を得て使用しています。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近のForm 10-K年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>
ボルグワーナー広報事務局 副島、中井
TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316
E-mail : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp